

# 祝 辞

小鳥たちの囁きに、暖かい春の訪れを感じる今日のよき日に、六十年以上もの長きに渡り生徒たちを見守り続ける伝統の学舎で、卒業証書授与式が執り行えます事に感謝し、保護者を代表致しましてお祝いの言葉を申し上げます。

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。様々なる思いを胸に今日の日を迎えた事と思います。本校舎で行う最後の卒業式となりますが、どうか心の目にも焼き付けておいて下さい。

さて今日から皆さんは、将来に向かって一步を踏み出し歩んで行く訳ですが、是非貴方の人生に添えて、これから出会う人たち全てに「想いやりの心」を持つて接して行って下さい。人はひとりでは生きて行く事は出来ません。これから貴方の人生の光々必ず他の人と関わる事となります。自分自身を理解してもらおうとすれば、先ず相手の事を理解しなければなりません。

皆さんも友達や家族と、喧嘩をしたりした記憶の一つや二つはあると思います。時間が解決してくれる事もありますが、お互いの想いを交わし、場合によつては自分の非を認め謝つたりもした事でしょう。こう言ったコミュニケーションの積み重ねで、人は相互理解を深めて行きます。何よりお互いが「思いやりの心」を持つて理解し合おうとしていれば、喧嘩すらする事も無いかもしれません。家庭が違えば考え方も違います。国が違えば、文化や歴史も違つて当然です。互いを尊重し合い、人間関係を築いて行きましょう。そしてより多くの人と出逢い、色々な考え方を学びましょう。今や多くのコミュニケーションツールが存在します。その気になれば翻訳機能を利用して、言葉を知らなくとも世界中のひとと交流出来たりもします。ラインなどで文字やスタンプだけで事を済ます事も多くなりましたが、たまには直接会つて話をする事も大切です。

ご承知の通り、この二十一世紀と言う時代に於いて、世纪の流行が繰り広げられています。目を背けたくないな

りますが、信じ難い事実です。嘗て日本の戦国時代のような事が、実際に起こっているのです。この様な話題を取り上げるのに躊躇いもありましたが、当たり前のように今日の日を迎えていたいと想えました。平和を永遠に幸せと感じてもらいたいと想えました。平和を永遠のテーマとしない為にも、私たち一人ひとりがお互いを思いやり尊重すると言つた、当たり前のルールを再認識しながら、生きて行かなければなりません。自分の思い通りにならないからと、人の物や命を奪うなど許されるはずも無く、絶対に許してはなりません。このような事が公然と行われている世の中を、今生きている私たちが変えていかねばなりません。皆さんこれから的人生が、豊かで幸せであり続ける為にも。

保護者の皆様、本日は誠にお子様のご卒業おめでとうございます。また平素よりPTA活動にご理解とご協力頂きありがとうございます。ご入学されてより、ようやく中学校生活に慣れてきたと安心させていた矢

先、コロナ禍に見舞われる事となりました。二年間以上もの間、学校生活の様子を直接見る事叶わず、寂しい思いをされた事と思います。今日のお子様のたくましく前を見て卒業して行く姿みて、安心して頂ければと思います。

最後になりましたが、一安校長先生をはじめ教職員の皆様には、子どもたちがお世話になり本当にありがとうございました。今までに経験したことの無いこのパンデミックにおきまして、子供たちの学校生活を変わらず維持するにあたり、相当な苦労があつたに違いありません。「生徒ファースト」を徹底して実践頂けた事を、心より感謝申し上げます。

堀江中学校の益々のご発展を、心よりお祈り致しまして、お祝いの言葉とさせて頂きます。

令和四年三月十一日

大阪市立堀江中学校PTA

会長 西村 一彦